

## 特集2

## JBパリ展ドキュメント

## 有名アパレル、メゾンが注目したJBパリ展 56社から640点のサンプルリクエスト

JB（ジョイント・尾州）ブランド構築実行委員会（委員長豊島半七・前一宮商工会議所会頭）主催の「第二回JB（ジョイント・尾州）パリ・展示商談会」が9月16～19日、パリのホテルドゥルーブルで開催され、大きな成果をおさめた。あくまで商談を目的とした展示会だったが、出展者及び関係者の努力もあってイタリア、フランスなどのアパレル、メゾン56社から640点のサンプルリクエストがあった。その後、リクエストのうち一部については見本着の注文が入っており、今後の現物商談に期待が高まっている。以下は第二回JBパリ展現地レポート。

### 先遣隊の「行商」で大きな成果

今回の展示会にはJBブランドに結集する11社が参加。展示総数は1社平均約10点の計107点。「商売に行くのだ」という意気込みは高く、同実行委員会は展示会に先立ち、墨艶金興業社長、小池小池毛織社長を先遣隊として9月6日から15日までイタリア、パリに派遣して、訪問プレゼンテーションを行った。

その結果、アルマーニ（メンズ、レディス）、エルメス、モスキーノ、クリスチャンディオール、フェレなど世界的に有名なアパレル、メゾン10社から152点のサンプルリクエストを受け、「行商は大成功」（関係者）した。



このニュースは日本のメディアにも大きく報道され、「尾州素材、国際的に評価」と話題を集め、16日からの展示商談会に期待を持たせた。

初日の16日（金曜日）は午後1時にオープン。早速ジャンルイシェレルなどパリ・ブレタポルテ協会参加企業が会場を訪れたほか、初日とあってFDC提携情報会社のネリーロディ社ネリーロディ社長、ト部在仏大使館公使、中井ジェットロパリ所長などVIPも来場した。

「日本、尾州の展示会」とあってパリのファッション情報誌ジャーナルドゥテキスタイル誌、中日新聞や織研新聞などジャーナリストも高い関心を示した。同実行委員会が素材提供を決めている専門学校・クレアポールの講師や生徒も熱心に尾州素材に見入っていた。

初日の入場者は84名で、サンプル請求は10社、107点に達した。

17日（土）、18日（日）は土日で主催者は来場者がどうなるか心配したが、17日はアパレル、メゾン関係ではサンタマリアノベア、アニエスベー、YOSHI KONDO、ミカクローゼット、ディエッチカヤックなどが来場した。このなかでアニエスベーはわが国でもよく知られているファッション企業で、主催者の間に「いけるぞ」と自信が広まった。

またダニエルフォールPVE会長も訪れ、関係者と歓談した。3月のパリ展で同会長は「日本企業のPV（プリミエール・ヴィジョン）出展を歓迎する」と話しており、PV誘致企業の下見も行ったのでは、との観測も出された。



心配された日曜日（18日）にも来場者はあり、17、18日併せて64名が来場し、12社から106点のサンプルリクエストを受けた。「良い素材を探すファッションビジネスには土日もない」との思いを強くした。

最終日の19日（月）、開場の10時から会場はにぎわった。アパレル、メゾン関係者ではバレンシアガや100店舗の小売店を持っているというクリスチンローレルなどが訪れ、商談を進めた。ジャーナリスト関係ではジャーナルドゥテキスタイル誌が再度訪れたほか、装苑、SAITAなどが取材を行った。

この日、わが国の繊維・ファッション業界を政策リードする宗像経済産業省繊維課長が来場した。本省の課長の来場は主催者に大きな励ましを与え、尾州産地に対する経済産業省の認識を高める結果となろう。

会期4日間の成果は、来場者総数278名、サンプルリクエスト46社から488点という内容だった。先遣隊の受注を含めて56社から計640点のサンプルリクエストを獲得、第二回パリ展示商談会は成功裡に終幕した。出展全社がくまなく受注した点に尾州の意匠力、技術力の高さが証明された。

ところで、会期中の人気素材、注目素材は

凝っていて、しかも洗練された素材。  
アンゴラウールの細番手、表面変化素材。  
裏地不要の一枚仕立て用の肉厚素材。  
織りや加工による新技術素材。

これらは来場者からのコメントが特にあったもので、参加11社の素材が平均的にサンプルリクエストとしてチョイスされたのも特徴である。すなわち11社がそれぞれに魅力ある個性的素材を提案したのである。

展示会そのものに関するコメントは「PVよりこじんまりしていて好感」、「PVの前のこの時期に、この場所で、継続することを望む」などの意見が寄せられたが、3月展来場リピーターが多数来場したのも特徴。「継続は力なり」というわけ。

素材開発に関しては「テキスタイル開発に初期段階から携わりたい」という貴重な意見がパリ在住のデザイナーから寄せられた。これはパリデザイナー、尾州にとってニュービジネスであり、今後が注目される。

なお、出展者への意見として「応援を含めて」JB参加企業が積極的に対応」という声も出されていた。全員参加のJBグループということである。

ともあれ、パリ展は二回目で1社平均58点のサンプルオーダーを受注した。その後の成約はともあれ、欧州アパレル、メゾンが尾州素材に大きな関心を示したことになり、展示商談会は成功した、と関係者は自信を深めた。

